

At a Glance

※ 中期経営計画に基づく事業区分

プレス事業

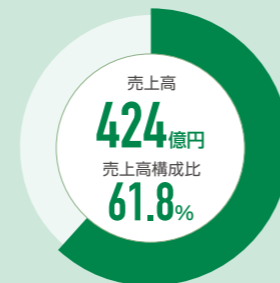


事業内容

自動車のボディパネルを成形する大型サーボプレスや、電動車駆動用モーターコア等を成形する高速精密プレス等、自動車、家電、電子機器、建築用資材等の金属塑性加工産業の生産を支えるさまざまなプレス機械を提供しています。

主な製品

汎用サーボプレス、中・大型サーボプレス、精密成形プレス、汎用プレス、中・大型プレス、高速精密プレス、冷間鍛造プレス等



自動機・FA事業



事業内容

材料供給装置、搬送ロボット、製品取り出し装置等、プレス機械の自動化に必要な周辺機器を開発・製造しています。生産ラインを一貫して提供できるため、生産性向上等のメリットが実現可能です。

主な製品

パイリング装置、材料供給装置(コイルフィーダー、ディスタックフィーダーほか)、搬送装置(搬送ロボット、中間搬送装置、金型交換装置ほか)、電装制御機器等



サービス事業

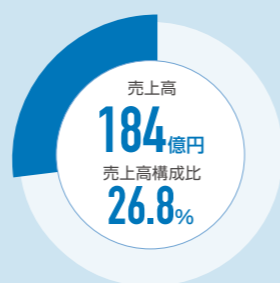


事業内容

プレス機械は寿命が長く、納入後も安心して長期にわたってご利用いただけるように、予防保全と事後保全の両面からサービスを行い、お客さまとの関係性の継続・強化を図っています。

主なサービス

修理・トラブルサポート、レトロフィット、オーバーホール、予防保全、プレス点検、移設工事等



事業における主な成長機会とリスク、市場環境

成長機会

- ・環境規制強化や環境保全の意識の高まり
- ・自動車電動化、自動運転化の加速による自動車部品の変革
- ・人口減少による省人化、生産性向上の加速
- ・新興国やグローバルサウスの経済拡大

リスク

- ・モノづくりにおける素材や工法の変化
- ・パンデミックや自然災害による経済の低迷
- ・政情不安等の地政学的リスク
- ・景気減速リスク
- ・ブロック経済化によるサプライチェーンリスク増大
- ・エネルギー不足、半導体不足による生産遅延
- ・原材料等の製造コストの高騰
- ・グローバルベースでの価格競争激化

ステークホルダーの皆さまへ

お客さまや社会が直面する
さまざまな課題をアイダの技術と
モノづくりで解決していくことで
持続的な成長を続けます



代表取締役社長 (CEO) **鈴木 利彦**

■ 社長就任の抱負

2023年4月に代表取締役社長兼最高経営責任者 (CEO) に就任いたしました。創業以来106年の歴史を持つ会社の前面に立っての舵取りは非常に重く、身に余る思いです。世界経済は変革期にありますが、当社も世界情勢の変化に対応し、グループ全体を変革させていかななくてはなりません。地政学的な影響に加え、世界が求める自然環境への対応が産業界へ大きな変化をもたらし、当社の製品へも影響しています。既存製品をベースとした技術のなかで、次世代技術への転用を考え活用していくことや、全く新しい工法による成形技術の開発等により、新たな市場を生み出すことが必要と考えています。

振り返ると、1990年代後半から2000年代初期に自動車産業の激的な発展による恩恵を受け、当社もグローバルに発展してきました。この時期から、自動車に使用する材料(ハイテン材等)の変化により、大型プレスの需要が拡大し、特に日系の自動車関連産業のトランスプラント事業に対して、北米/欧州/中国エリアへの販売を拡大していきました。海外での現地生産においては、大型機械の生産比率が高いアメ

リカ工場やイタリア工場の溶接エリア新設、中国工場の設備機械整備と工場拡張、マレーシア工場における組立工場や加工工場の整備等、次なる受注増加に向けた準備を進めてきました。

しかしながら時代の変化は激しく、求められる機種も変わり、電気自動車(EV)化の進展により自動車自体の部品形状や使用される材質、部品構成も大きく変わってきています。さらに自動運転技術等の付帯技術が求められ、カーメーカーのビジネスモデルは一気に変化しています。昨今の新型コロナウイルスの影響により、サプライチェーンの仕組みは変更を余儀なくされ、当社やユーザーの市場環境は変わり、各国に構築した、あるいは計画中の生産設備についても見直しが急務となっていますので、選択・集中すべき所を明確にし、経営資源を投下していきます。

パワートレインの電動化が進むなかで、おのずと対座するキープレーヤーが変わる状況となっています。そのキー部品・プレーヤーが変化するなかで、当社の販売する製品構成や事業ポートフォリオの変革が喫緊の課題となっています。車づくりの変革による部品点数の減少は、プレス機械で生産する部